

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 6 部門第 4 区分

【発行日】平成 16 年 10 月 28 日 (2004.10.28)

【公表番号】特表 2000-516008 (P2000-516008A)

【公表日】平成 12 年 11 月 28 日 (2000.11.28)

【出願番号】特願平 9-524423

【国際特許分類第 7 版】

G 1 1 C 11/419

G 1 1 C 7/00

【F I】

G 1 1 C 11/34 3 1 1

G 1 1 C 7/00 3 0 1 B

【手続補正書】

【提出日】平成 15 年 10 月 23 日 (2003.10.23)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

## 手 続 補 正 書

平成15年10月23日

特許庁長官 殿

1. 事件の表示 平成9年特許願第524423号

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住 所 アメリカ合衆国、カリフォルニア州、ミルピタス、  
マッカーシー ブルバード 1551

名 称 エルエスアイ ロジック コーポレーション

3. 代理人

〒170-0013 電話 03 (5956) 7220

住 所 東京都豊島区東池袋1丁目20番2号

池袋ホワイトハウスビル816号

氏 名 (8197) 弁理士 吉 田 豊



4. 補正対象書類名

明細書

5. 補正対象項目名

好ましい実施の形態の詳細な説明



6. 補正の内容

- (1) 明細書第8頁第23行の「を受けて  $WL_0-WL_{i-1}$  信号のうち一つのみが発生し、メモリセル 110 の対する行が」を『を受けて  $WL_0-WL_{i-1}$  信号のうち一つのみが発生し、コアメモリセル 110 の対する行が』と補正する。
- (2) 明細書第9頁第16行の「) を含んでいる。実際、ダミーセル 114 はデータ

を送出しないことを除いて、コ」を『)』を含んでいる。実際、ダミーメモリセル 114 はデータを送出しないことを除いて、コ』と補正する。

(3) 明細書第 9 頁第 20 行の「さらに固定メモリセル 116 とダミーセル 118 とはすべて、ダミー列で  $BL_D, BL_N$ 」を『さらに固定メモリセル 116 とダミーメモリセル 118 とはすべて、ダミー列で  $BL_D, BL_N$ 』と補正する。

(4) 明細書第 9 頁第 25 行の「るのである。ダミーセル 118 はコアセル 110 と同様に構成されていることが好ま」を『るのである。ダミーメモリセル 118 はコアメモリセル 110 と同様に構成されていることが好ま』と補正する。

(5) 明細書第 12 頁第 8 行の「せず) の行が  $BL_j, BL_Nj$  ビット線にデータを送出し、データはアクセスされたメ」を『せず) の行が  $BL_j, BL_Nj$  ビット線にデータを送出し、データはアクセスされたコアメ』と補正する。

(6) 明細書第 17 頁第 19 行の「全に導通し始め、トランジスタ 216, 220 を介してロジック低レベルに SAOUT 信号」を『全に導通し始め、CMOS トランジスタ 216, 220 を介してロジック低レベルに SAOUT 信号』と補正する。

(7) 明細書第 22 頁第 21 行の「レイ 108 のメモリアクセスの終了を示す前に確実に安定化する。第一にダミー行」を『アレイ 108 のメモリアクセスの終了を示す前に確実に安定化する。第一にダミー行』と補正する。